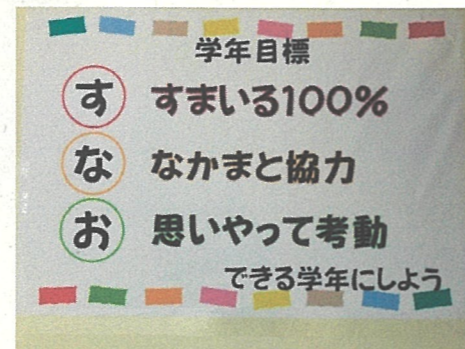
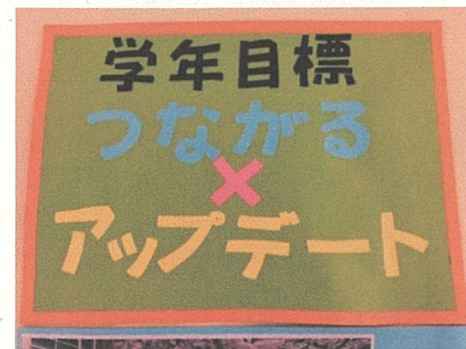


# 葛中だより

令和6年5月17日(金)  
葛城中学校だより 2号

## 自律・人とつながる・己を知る、、、人間力

約ひと月の学校生活が過ぎました。  
毎日の学校生活で、それぞれの学年の目標を感じながら、日々の成長を遂げてほしいと願っています。各学年の学年目標や学年の写真を紹介します。



第1学年



第2学年

第3学年

以下は、今年度の入学式で80期生に贈った式辞の一部抜粋です。読んでみてください。

一つ目は葛城中学校の校訓「親和勤勉」です。親和とはお互いに和やかに親しむこと。仲良くなることです。勤勉とは一生懸命に努めること。学校生活での勉強や様々な取り組みを頑張ることです。

葛城中学校の先輩方が、築き上げた素晴らしい伝統と校風を新入生の皆さんが引き継ぎ、発展させることを願っております。

二つ目は「桜梅桃李」という言葉です。「おうは桜」「ばいは梅」「とうは桃」「りは李」という字を書きます。

意味は、桜の木は桜自身の良さを、一生懸命輝かせて生きています。梅の木は梅自身の良さを、一生懸命輝かせて生きています。

同じように果物の桃も、李もそれぞれの良さを輝かせます。

当たり前ですが、桜の木が梅の木を、うらやんだり、比べたりすることはありません。果物の桃が李をうらやんだり、比べたりすることもあります。その逆もありません。

思春期を迎える皆さんは、ともすれば「他人と自分」を比べることで落ち込んだり、やる気が出なかつたりすることがあるかもしれません。皆さんは、かけがえのない大切な一人一人です。

どうか、それぞれが、自分の個性を存分に輝かせることに一生懸命になってください。

そんな中学校生活を、送れることを願っています。

三つめは「対話力」という言葉です。

人が2人以上集まれば、意見の違いは必ずあります。あって当たり前です。これから先いろいろな人との出会いがあります。

意見の対立があった、その時に感情的になって、相手に嫌な言葉をぶついたりするだけでは、人と仲良くなることはできません。人とのつながりを持つこともできません。

意見の対立はそのままにしておけば、大げさに言えば戦争にもつながるのかもしれない。

これから君たちが生きる時代は増々、ひとつの地域や国だけでは生活を送ることができなくなるでしょう。

「地球民族主義」という言葉に象徴されるように地球規模での「人とのつながり」が大切になってきます。

そこで人には「言葉」があります。

相手と真剣に向き合い、話し合い、互いの「多様性」を受け入れる「寛容さ」をもって、「対話する」ことで、他人とつながることができると思います。

ぜひそんな「対話力」を身に付けて、いろいろな人とつながることを葛城中学校で学んでください。

「親和勤勉」「桜梅桃李」「対話力」この三つの言葉を本日の入学式に皆さんに贈ります。



令和6年度の目標

「基礎学力の定着」

「人とのつながり方を学ぶ」

★「親和勤勉」★

★「桜梅桃李」★

★「対話力」★